



里山の田んぼや雑木林には、たくさんの動植物がすんでいます。里山を歩いてみると、昆虫や野鳥、草木やタネなどさまざまな動植物を観察することができます。

活動のねらい

里山を歩きながら、動植物の観察ビンゴを楽しみ、さまざまな動植物と触れ合う。また、里山にすむさまざまな動植物の名前や特徴、性質を知る。

□準備物 ◇事前準備

- | | | | | |
|----------|-----------|---------|-----------|------|
| □筆記用具 | □観察ビンゴカード | □ビンゴシール | □野帳またはメモ帳 | |
| □デジタルカメラ | □バインダー | □動植物図鑑 | □双眼鏡 | □ルーペ |
| □捕虫網 | □虫かご | | | |

◇事前に観察場所やコースを決め、下見を行う。

◇事前に観察場所でみられる動植物を調べ、名前の確認などをする。

◇事前に観察する内容やテーマを決め、観察ビンゴカードや動植物シールをつくる。

観察ビンゴカードの参考例

例.1 動植物の名前を知らなくても楽しめるビンゴカード

・「チョウを見た」、「黄色い花を見た」、「鳥の鳴き声を聞いた」などの項目

例.2 動植物の名前をチェックしながら楽しむビンゴカード

・「モンシロチョウ」、「セイヨウタンポポ」、「シジュウカラ」などの項目

※上記以外にも季節、手ざわり、色、生態などさまざまなテーマで工夫しましょう。

※ビンゴカードは5×5マス、4×4マス、3×3マスなどそれぞれの観察に合わせて用意しましょう。

※ビンゴカードのフォーマットやビンゴシールは茨城県自然博物館ホームページでもいくつかの例を紹介しています。また、イラストやスケッチなどを使ってオリジナルのカードやシールをつくってみましょう。

活動のしかた

1. 観察ビンゴカードやビンゴシールを配り、ルールを説明します。
* ビンゴカードやビンゴシールはバインダーにはさんで持ち歩くと便利です。
2. 里山を歩いて動植物を見つけ、観察できた項目にシールを貼ります。
* シールの代わりに○をつけたり、色を塗ったりするのもよいでしょう。
3. いくつビンゴができたか、いくつシールが貼れたかなどを確かめます。
* ビンゴになったらみんなで拍手をするなど観察の意欲を高めましょう。

参考 { 見つけた動植物の名前や特徴を野帳やメモ帳に記録します。
* 気づいたことなどを自由に記録するとよいでしょう。
* デジタルカメラなどで記録したり、ルーペや双眼鏡で観察を深めるのも効果的です。 }

○まとめ ☆発展

○里山でどんな動植物がみられたかを確かめ、お互いに発表しましょう。

○どのような動植物が、どこに、どんな様子ですんでいたか確認してみましょう。

☆観察できた動植物を参考に、歩いた里山の環境について考えてみましょう。

☆同じビンゴカードを、季節や場所を変えて使い、観察できる動植物の違いを確かめましょう。

[担当：亀山]